

心を合わせて復興へ

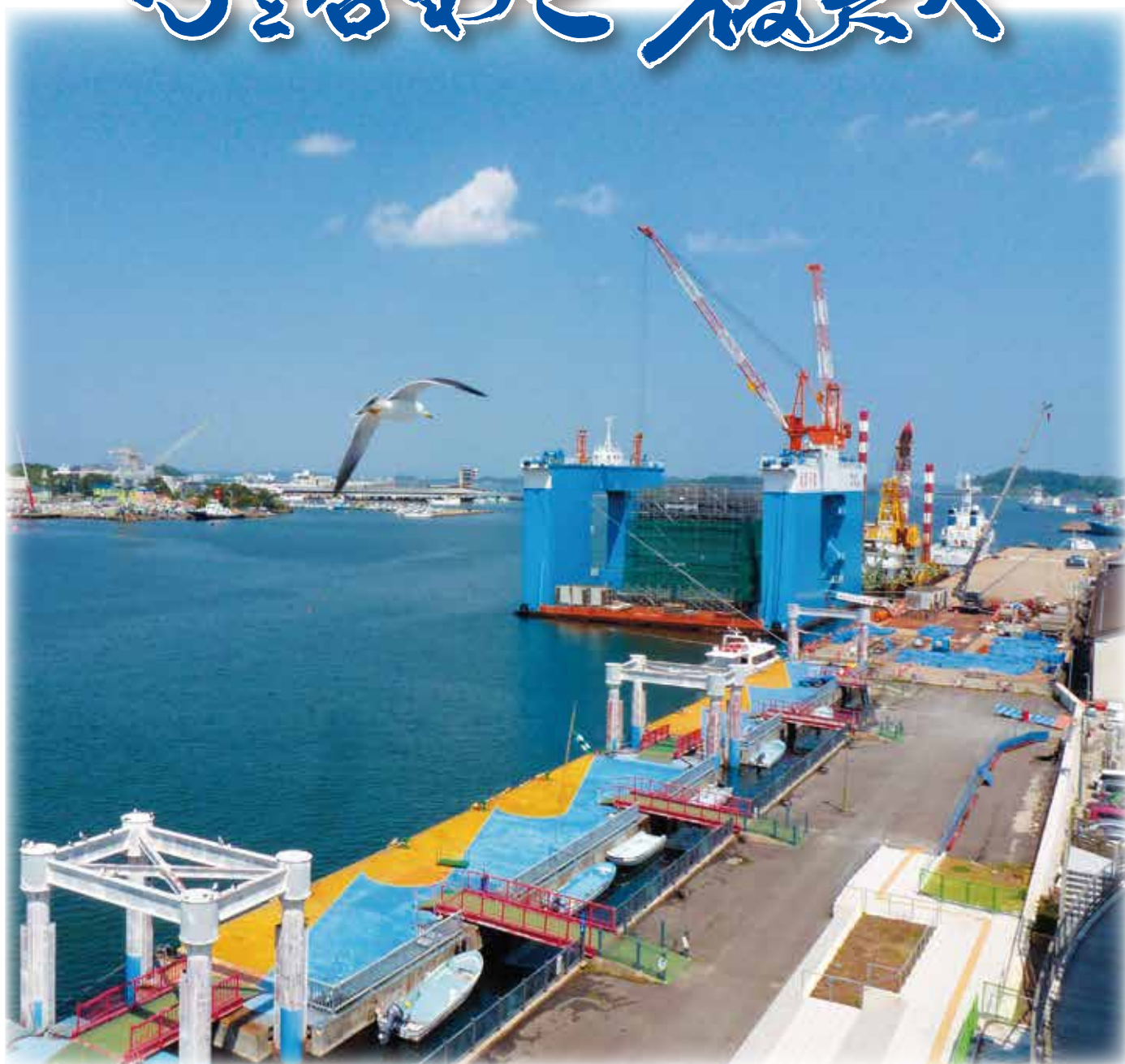


写真 マリンゲート塩釜から臨んだ塩釜港

東日本大震災の記録

2011.3.11～2012.6.30

 塩釜商工会議所

【表紙説明】

写真「マリンゲート塩釜から臨んだ塩釜港」

〔防波堤用ケーソン製作工事〕

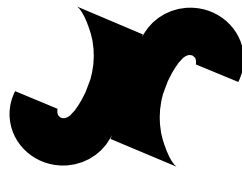
東日本大震災（3.11）と最大余震（4.7）により仙台港区の防波堤の灯台がある先端部が大きく傾き被災しました。そこで、塩釜港区西埠頭に設置したフローティングドック（浮きドック）の中で、防波堤の本体となるケーソン（鉄筋コンクリート製の箱）の製作をしています。

ケーソンは幅 18m、長さ 15m、高さ 19.5～20.5m、重さ約 4千トンの巨大建造物です。

心を合わせ 復興へ

東日本大震災の記録

2011.3.11 ~ 2012.6.30



塩釜商工会議所



発刊にあたって

平成 23 年 3 月 11 日、午後 2 時 46 分、この地に発生した大規模地震と想像を絶する大津波により、かけがえのない尊い生命、これまで築き上げてきた歴史的、文化的財産が奪い去られました。この東日本大震災による未曾有の被害を思いますと、今なお心が痛み、哀惜の念に耐えません。

当所も 1 階全館が完全に水没し、建物本体や会館設備に甚大な被害を受け、一時仮事務所を開設し業務遂行を余儀なくされる中、会員企業の被害状況の把握に努め、震災対応の緊急窓口業務、産業・市民生活の基盤となるインフラ等の早期復旧を求める要望などを強力に推進するため、会議所内に産業復興会議を設置し、被災した会員企業の継続・再建に向け各種の経営支援策を講じてまいりました。

しかしながら、初動対応においては、事務所機能が壊滅し会員データなど情報管理システムが完全破損したこと、さらに被災した職員も多い中、人員の確保と組織的活動が困難であったことなどの様々な問題点を検証し、これらを踏まえて今後の災害発生時における対応を構築する必要性を痛感しています。また、これまでも各種の要望事項を訴えて参りましたが、時間の経過とともに変化していく地域や会員の現状を様々な形で意見集約し、今後も引き続き要望活動を行って参ります。

この未曾有の大震災から一年余り経過した今、震災直後からこれまでの活動を振り返り、被災地の復興と大震災の教訓を忘れることなく後世に伝えるため、記録として取りまとめることで、少しでも皆様のお役に立てればとの思いから本冊子を発行することにいたしました。

同時に、この一年余り、人と人との絆が、苦難を乗り越える大きな力になっているものと考えております。日本商工会議所をはじめとする全国の商工会議所の皆様、地域の各諸団体の皆様から義援金をお寄せいただくとともに、多くの方々に被災地訪問による激励など、物心両面にわたるご支援をいただき、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

今後も当地域の復興がかなうまで、皆様と結んだ絆の強さを信じ、役・職員心をひとつに、さらなる地域経済復興に力を注いでまいります。

引き続きのご支援とご指導を切にお願い申し上げます。

塩釜商工会議所 会 頭 桑 原 茂



目 次

東日本大震災の記録

第1章	被災状況と復興の歩み	6
第2章	震災後の塩釜商工会議所活動経過	16
第3章	復興の軌跡 塩釜商工会議所の活動	24
	・被災企業・地域の復興支援	24
	・復興PR活動	28
	・要望活動	32
	・東日本大震災会員安否確認（被害状況）調査結果	37
	・震災復興会員ニーズ調査結果	38
	・会費の対応	40
	・塩釜商工会議所会館設備等の主な被害状況	40
	・各地からの表敬訪問・視察等受入状況	41
	・ご支援をいただいた方々	41



ようこそ
歓迎

RIN



H24. 6 現在

H23.3.11 海岸通地区

防波堤（2.7m）を越え、国道45号線（写真中央）に津波が押し寄せる。右は、マックスバリュ塩釜店屋上パーキング。



H23.3.11 港町地区

津波は、観光栈橋を越えマリングート塩釜、駐車場そして、すぐ左側にある会議所会館を飲み込んだ。



H24. 6 現在

H23.3.11

海岸通地区 吉番館展望台より

濁流と化した津波により、中心市街地全体が浸水した。



H24. 6 現在



H23.3.11
北浜地区

冠水した北浜地区、海岸沿いには水産加工の工場や造船所などがあり、家屋等多くの被害があった。



H23.3.11

破壊されたみなと広場の「シオーモの小径」。防潮堤には、小型遊覧船が乗り上げている。



H24. 6 現在

マリゲート塩釜は、7月よりリニューアルオープンし、観光客も戻りつつある。

H23.3.12

国道に打ち上げられた浦戸海上タクシー「八千代」と小型船。





H24. 6 現在

H23.3.28 越の浦地区

地盤ごと流され、線路が切断された。

H23.3.16 港町地区

仙台塩釜港（塩釜港区）上空より写した被災後の港町地区の様子。中央に当会議所がある。左上部は浸水した水が引かず、右上には流された車が積み重なっている。



H23.3.25 浦戸諸島野々島

野々島では 154 棟が被災・流出し、島の中央には巨大な沼地が出現、道路も陥没し、滅失した。

H23.3.25
浦戸諸島寒風沢

寒風沢では、津波が南側の集落を襲い、30戸が全壊するなど156棟が被災・流出した。



浦戸地区寒風沢

空路からの支援物資を島民の方々が流れ作業で運ぶ。



H23.3

市内の各スーパーでは、物資に限りがある中、早急に店頭での販売が行われ、連日行列ができた。

H23.4

全国の商工会議所青年部から寄せられた支援物資を仕分け、配布した。





H24.6 現在

H23.3.11 海岸通地区

海岸通商店街にも約2mもの津波が押し寄せ、甚大な被害をもたらした。



H23.3.11 本町地区

数km離れた加工団地から流れた梱包資材が目立つ。



H23.3.12 海岸通地区

震災翌日。海水は引いたが、大量のがれきとヘドロが残った。



H24.6 現在

ご家族やボランティアの協力によって、商店街1番の早さで営業を再開した。



H23.4 宮町地区

震災から1～2ヶ月が経過した頃になると、処理しきれないガレキの山が目立ってきた。この地域も車道にはみ出すほどの大量のガレキが積まれていた。



H23.3.12 海岸通地区

H23.3.14 新浜地区

新浜地区も岸壁が崩れるなどの被害にみまわれたが、早期復旧により、元の活気を取り戻しつつある。



H24.1.4 1月初セリ

塩釜魚市場で「初競り」が行われた。この日は、例年より多い4隻が入港し、ビンチョウマグロ等、約90トンの水揚げとなった。



H23.3.12 中の島公園前

折り重なる被災車輛。津波による浸水は翌日になっても引かない。



H23.3.11 旭町地区

津波の影響により冠水し、国道にも海水が押し寄せてきた。走行していた車が急いでUターンしている。



H23.3 藤倉地区



H23.3 藤倉地区

塩釜保健所と保健センターの間にもガレキと化した車両等が流されてきた。



H23.3.12 藤倉地区

藤倉の商店街。交差点の車道に小型船が乗り上がった。



H23.3.11 本塩釜駅前

本塩釜駅舎内には1.8m～2.0mもの津波が押し寄せ、大量のガレキやヘドロが入り込んだ。

その後、4月19日には運行を再開したが、本格的な復旧までには至らず、現在でも仮設の窓口にて営業されている。



H24.6 現在 本塩釜駅前

震災から1年が経過した今年の3.11に、復興を祈念する花時計が設置された。

季節によって花が植え替えられたりと、常に美しさが保たれている。



H23.11.12 港町公園

震災により亡くなられた方々への鎮魂、そして塩釜の復興を祈願し、「復興の鐘」が塩釜ロータリークラブにより設置された。鐘の高さはこの地域の津波の高さである2.1mに設置されている。



H24.6 現在 港町地区

臨港地区は地盤沈下により、満潮時には海水が湧き出し、大量の土止めによって道路への流水を防いでいる。

H23.8 貞山通地区

3.11の本震や多くの余震により、貞山埠頭の岸壁にも大きな爪痕を残した。



H23.3 会館駐車場

連日、職員による復旧作業が行われ、駐車場には廃棄となった事務用品等が山積みとなった。



H23.3 会館事務所

当会議所にも 2.7 m の津波が押し寄せ、机上の書類や機器も流された。



H23.3 会館第4会議室

資料やファイルを乾燥させている。ヘドロ混じりの海水は乾いても汚れが落ちにくく、衛生面での処理に苦労した。



H23.4.1 会館第1会議室

ヘドロを撤去した後、ブルーシートを敷き詰めて書類の整理にあたった。



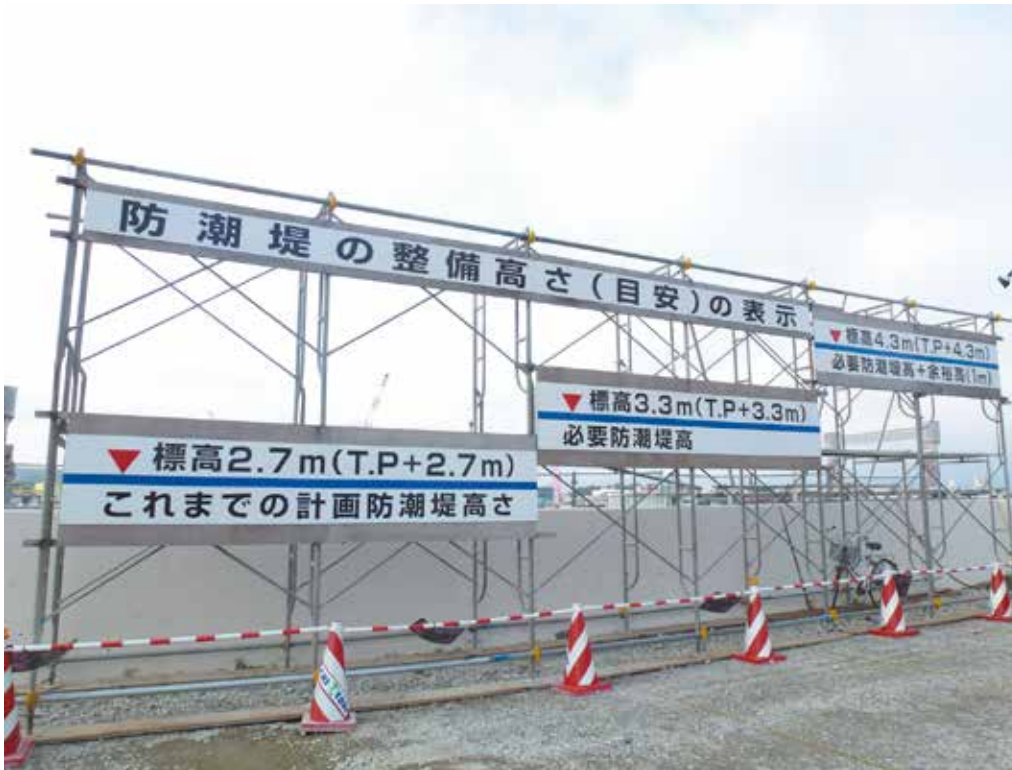
H23.3 会館第1会議室

会議室内もヘドロだらけとなり、復旧まで3ヶ月間要した。



H24.6 現在

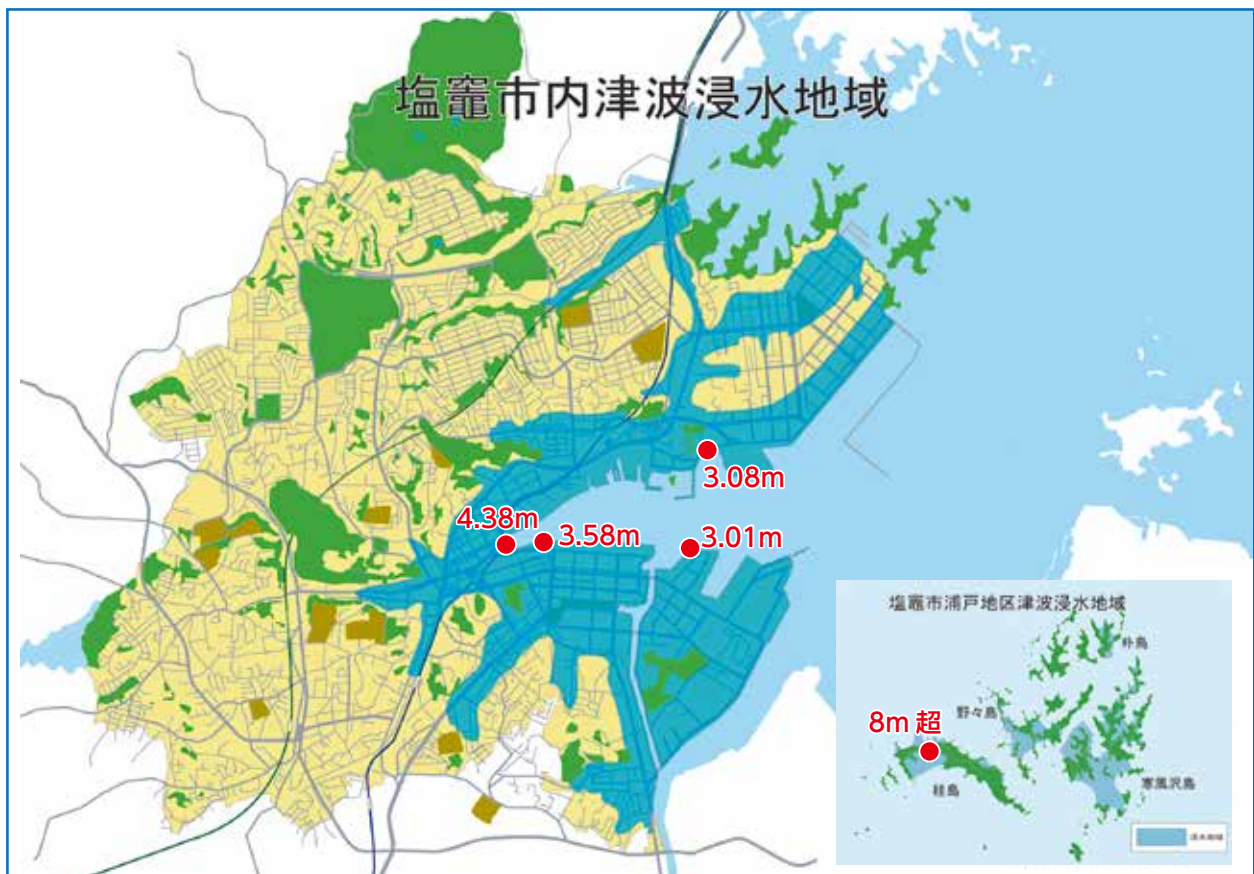
コクヨ東北(株)から机 30 台、日本商工会議所から机 30 台とイス 90 脚の支援を受けた。



H24.6 現在 マリンゲート塩釜駐車場

港湾施設の災害復興に併せ、県の港湾計画の見直しにより、塩釜港区に防潮堤の目安表示板が設置された。

その後、市民へのアンケート調査なども行われ、本土が標高 3.3m、浦戸諸島が標高 4.3m の高さを一つの目安とし、計画が進められている。



月 日	曜	塩釜商工会議所の動き
3月11日	金	○14:46 地震発生
		・地震発生時、会議室利用者、確定申告者、テナント関係者、当所職員 58 名が会館内に在室、直ちにマリゲート塩釜 3 階に避難誘導
		○16:02 津波最大潮位 4 m 90cm
		・会館内床上 1 m 40cm浸水
		◇当所被害状況ー・駐車場 2 0 cm程度の地盤沈下 ・フェンス破損
		・会館内の浸水による壁及び床の破損および汚泥、重油付着、屋根一部亀裂
		・電気、空調電話設備水没破損
		・車両 2 台 ・印刷機 3 台 ・サーバー、P C 15 台
		・会議用机 120 台 ・椅子 250 脚 ・テレビ・ビデオ・DVD・プロジェクター
3月14日	月	○職員による復旧作業を開始 ・館内清掃、会館駐車場敷地及び周辺の瓦礫撤去
3月23日	水	○臨時相談窓口をキクニ(株)に開設 (4/30 まで延べ 272 名が来所)
		・災害融資、公的支援、雇用保険関係の相談受付多数
3月24日	木	○臨時正副会頭会議を開催 (震災状況報告と今後の対応について協議)
		○公明党山口代表来塩に伴う意見交換及び要望
3月28日	月	○宮城県商工会議所連合会鎌田会長、日本商工会議所中村専務理事等来所
3月29日	火	○被災見舞と臨時相談窓口の開設の周知を兼ね、「会議所情報」を発行・配布
3月30日	水	○会員事業所への安否確認巡回訪問を開始
3月31日	木	○災害融資相談会を開催 (日本政策金融公庫 以後毎週水曜日に開催)
4月1日	金	○中小企業庁豊永次長来塩に伴う意見交換及び支援要請
4月2日	土	○塩竈市水産業震災復興期成同盟会が発足
		○仙台塩釜港復興会議が仙台商工会議所で開催
4月6日	水	○日本商工会議所坪田理事、事務局長が来所
4月7日	木	○石山敬貴衆議院議員来塩に伴う意見交換及び要望
4月8日	金	○熊谷大参議院議員来塩に伴う意見交換及び要望
4月10日	日	○桜井財務副大臣来塩に伴う意見交換及び要望
4月12日	火	○臨時常議員会を開催 (21 名出席)
4月20日	水	○「会議所情報NO2」を発行・配布
		・公的支援制度の情報提供及び会館業務再開予定時期を周知
4月22日	金	○石巻・気仙沼商工会議所を訪問し支援物資提供 (桑原会頭)
		○震災復興に関するまちづくり懇談会を開催
		・まちづくりプランナー宮西悠司氏 (神戸市) 来所
		・平成7年阪神大震災での神戸市長田地区の復興事例の紹介等

月 日	曜	地 域 の 動 き
3月11日	金	○避難所の状況 39カ所 8,047人
3月12日	土	○避難所の状況 46カ所 8,771人
3月13日	日	○ベイウェイブ78.1FMで災害の市内情報を発信開始 □気象庁がマグニチュードを8.8から9.0へ修正
3月14日	月	□仙台市地下鉄が一部区間で運行開始
3月21日	月	○ガソリンなど燃料を積載したタンカーが塩釜港へ入港 ・津波により航路が通行不能だったが、他港に先駆けて復旧した
3月22日	火	○塩釜市仲卸市場が営業再開
3月24日	木	○市内小学校で延期されていた卒業式を実施
3月26日	土	○塩竈市宮汽船の運航を再開
3月28日	月	○伊保石地区に仮設住宅の着工を開始 □宮城県内の在来線で震災後初、JR仙石線が仙台市内一部区間で運転を再開
3月31日	木	□宮城県が震災の被害額を2兆円以上と公表
4月1日	金	□政府が地震名を「東日本大震災」と決定 ○避難所の状況 6カ所 770人
4月4日	月	○塩釜市魚市場でマグロの競りが再開
4月5日	火	○JR東北本線で仙台駅－松島駅間で運転再開
4月7日	木	○23:32 震度6弱（本市）の余震発生
4月12日	火	□福島第一原発の暫定評価をレベル7に引き上げると国が発表
4月14日	木	○塩釜魚市場に震災後初のマグロはえ縄船が入港
4月19日	火	○JR仙石線で東塩釜駅までの運行を再開
4月21日	木	○市内小中学校の入学式・始業式を実施
4月22日	金	□宮城県が「震災復興本部」を新設
4月24日	日	○鹽竈神社で「花まつり」を開催（震災により神輿の市内巡行は中止）

月 日	曜	塩釜商工会議所の動き
4月25日	月	○震災後初、県連幹事会（復興対策本部宮城県本部連絡会議）を仙台商工会議所で開催 ○札幌・東京商工会議所より職員2名派遣受入 (中小企業ネットワーク支援強化事業の一環で、3日間巡回サポートを受ける)
4月26日	火	○黒部商工会議所島事務局長等が来所（被災者の受入の件）
5月2日	月	○会館での業務を再開（会議室貸出し業務は7月1日から再開） ○「会議所情報NO3」を発行・配布（災害特別相談会等開催情報の周知）
5月6日	金	○東日本大震災復興祈願祭が監電神社で開催
5月8日	日	○臨時正副会頭会議を開催（震災復興の為の後のまちづくりについて協議）
5月12日	木	○災害融資特別相談会を開催（相談者19名）
5月13日	金	○震災復興の為のまちづくり方策について佐藤市長に要請
5月17日	火	○正副会頭会議を開催（震災復旧・復興の方策について協議）
5月18日	水	○県連幹事会が仙台商工会議所で開催
5月23日	月	○仮設店舗施設事業打合せ会議 ○地域復興を願い、「復興ステッカー」を5,000セット制作・販売
5月24日	火	○常議員会において「塩釜市産業復興会議」を設置及び発足
5月25日	水	○日本商工会議所岡村会頭への訪問、今後の支援策を要請
5月26日	木	○三役と塩釜市議会産業建設常任委員との意見交換会を開催
5月28日	土	○神奈川県藤沢市産業フェスタ（震災復興物産）への「塩釜地産商品」出展 ○愛知県小牧市産業フェスタ（震災復興物産）への「塩釜地産商品」出展
6月1日	水	○「しおがま会議所ニュース」（6月1日号）再開・震災後、初の発行
6月8日	水	○震災復興イベント「福幸市」事業打合せ会議
6月13日	月	○福岡県中間商工会議所より職員1名派遣受入 (中小企業ネットワーク支援強化事業の一環で、5日間巡回サポートを受ける)
6月14日	火	○仮設店舗施設事業打合せ会議
6月16日	木	○被災者支援施策説明・ワンストップ相談会を開催 (東北経済産業局、塩釜市との共催 参加者38名)
6月20日	月	○正副会頭会議を開催（震災復旧・復興の方策等について協議）
6月21日	火	○常議員会・塩釜市産業復興会議を開催（19名出席）
6月23日	木	○仮設店舗施設事業打合せ会議
6月27日	月	○公明党国会議員視察団来塩に伴う意見交換及び要望

月 日	曜	地 域 の 動 き
4月25日	月	<input type="checkbox"/> 東北新幹線の仙台～福島間再開により、震災後1ヵ月半で東京と直結
4月27日	水	<input type="checkbox"/> 天皇・皇后両陛下が被災地見舞いで宮城県入り
4月28日	木	<input type="checkbox"/> 県内初となる仮設住宅への入居が始まる（25世帯・60名）
5月1日	日	<input type="checkbox"/> 松島への定期遊覧船が運航再開
5月2日	月	<input type="checkbox"/> 避難所の状況 5ヵ所 333人
		<input type="checkbox"/> 震災対応を重点とした政府の平成23年度「第1次補正予算」が成立
5月8日	日	<input type="checkbox"/> 宮城県沖合底引き網漁協所属の漁船13隻が塩釜港に入港、震災後、初の水揚げをした
		<input type="checkbox"/> 鹽竈神社で「東日本大震災復興祈願祭」を開催
5月9日	月	<input type="checkbox"/> 「塩竈市震災復興本部会議」が設置され、第1回本部会議を開催
5月10日	火	<input type="checkbox"/> 宮城県内での復旧事業費を決める災害査定が始まる
5月16日	月	<input type="checkbox"/> セントラル自動車新本社工場で量産1号車が完成
5月27日	金	<input type="checkbox"/> 仙台港に震災後初の外国貿易船が入港
5月28日	土	<input type="checkbox"/> JR 仙石線・東塩釜駅～高城町駅間の運行再開
		<input type="checkbox"/> 被災した東北の漁港として初めて、塩釜港へカツオが水揚げされた
6月1日	水	<input type="checkbox"/> 避難所の状況 4ヵ所 100人
6月8日	水	<input type="checkbox"/> 塩竈市震災計画検討委員会（塩竈市）第1回会議（桑原会頭出席）
		<input type="checkbox"/> 仙台港での国際コンテナ取扱業務が再開
6月20日	月	<input type="checkbox"/> 政府の復興対策本部設置などを含む復興基本法が成立
		<input type="checkbox"/> 被災者を対象とした東北地方の高速道路無料化が開始
6月26日	日	<input type="checkbox"/> 東日本大震災塩竈市慰霊祭が塩釜ガス体育館で開催
6月28日	火	<input type="checkbox"/> 気仙沼魚市場に初カツオ水揚げ

月 日	曜	塩釜商工会議所の動き
6月28日	火	○平成23年度通常議員総会を開催 ・22年度の事業報告、収支決算の承認を受けるとともに、会費減額を決議
7月1日	金	○復興サポーター2名（商店街復興支援事業）を採用（12/31まで）
7月8日	金	○東日本大震災復興対策本部宮城県本部長末松氏との意見交換会開催
7月18日	月	○地域産業の復興を願い、「がんばっぺ塩釜！産業福幸市」を開催
7月19日	火	○常議員会・塩釜市産業復興会議を開催（20名出席）
7月21日	木	○東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会設立総会が東京で開催
7月26日	火	○上田商工会議所来所
7月27日	水	○工業建設・運輸港湾復興部会（塩釜のみなとを考える会合同）を開催
7月28日	木	○仙台地方振興事務所副所長、部長来所
7月29日	金	○水産市場関連・水産加工復興部会を開催
8月4日	木	○正副会頭会議を開催（震災復旧・復興の方策等について協議）
8月8日	月	○仙台塩釜港復興会議が仙台市で開催（加藤専務理事出席）
8月10日	水	○仮施設入居者説明会を開催
8月12日	金	○仮施設整備事業「鍵引渡し式」を開催
8月24日	水	○工業・建設復興部会を開催
8月29日	月	○商業・観光サービス復興部会を開催
8月30日	火	○塩釜市産業復興会議を開催（各復興部会での意見要望を集約）
9月2日	金	○甲府商工会議所職員来所
9月9日	金	○商業・観光サービス復興部会を開催
9月13日	火	○正副会頭会議を開催（震災復旧・復興の方策等について協議） ○中小企業等グループ施設等復旧整備補助金説明会を開催
9月14日	水	○専門サービス復興部会を開催
9月20日	火	○常議員会・塩釜市産業復興会議を開催（国、県、市への要望事項とりまとめ）
9月27日	火	○臨時議員総会を開催 ・震災に伴う平成23年度事業計画の変更、補正予算等の承認。
9月28日	水	○須坂商工会議所来所
9月29日	木	○塩釜市長への「震災復興支援に関する要望」 ○復興支援「無料税務相談会」を開催
10月5日	水	○浜田商工会議所会頭・専務理事来所
10月12日	水	○正副会頭会議を開催（グループ等施設整備補助金申請等について協議）
10月17日	月	○内閣府被災地区対策本部長への「震災復興支援に関する要望」 ○宮城県知事への「震災復興支援に関する要望」
10月18日	火	○常議員会を開催（グループ等施設整備補助金申請等について協議）

月 日	曜	地 域 の 動 き
7月 1日	金	○避難所の状況 2カ所 41人
7月 13日	水	○塩竈市内の避難所がすべて閉鎖
7月 18日	月	○第64回塩竈みなと祭が開催（みこし海上渡御・パレード）参画・協力
7月 25日	月	□仙台空港の国内定期便と国際臨時便の運行が再開
8月 2日	火	○市内で支援活動を行ってきた陸上自衛隊第22普通科連隊が撤収
8月 9日	日	○復興計画策定へ向け「地区懇談会」が開催（市内14カ所）
8月 11日	木	○東日本大震災慰霊・灯籠流しを開催
8月 30日	火	□野田新首相が就任
9月 11日	日	○延期されていた塩竈市議会議員・塩竈市長選挙が実施される
9月 23日	金	□東北新幹線が震災前の通常ダイヤに戻る
9月 25日	日	○「復興！全国塩サミットIN宮城塩竈」をふれあいエスプ塩釜で開催
10月 5日	水	□外務省が「東日本大震災・観光復興国際シンポジウム」を仙台市で開催
10月 16日	日	○塩釜魚市場復興どっと祭を開催

月 日	曜	塩釜商工会議所の動き
10月23日	日	○がんばっぺ！塩釜産業復興市を開催（京都大日如来像製作イベント同日開催）
10月25日	水	○グループ等補助金申請説明会・個別相談会を開催
10月27日	木	○復興支援「無料税務相談会」を開催
11月10日	木	○専門サービス部会で「個別相談会」を実施
11月16日	水	○東北大学大学院今村教授を講師に「共同講演会」を開催
11月28日	月	○東北放射線科学センター理事高倉吉久氏を講師に「復興特別講演会」を開催
12月15日	木	○しおがま歳末復興セールを開催 ～1月3日まで
1月10日	火	○山形初市で震災復興物産展
1月11日	水	○二重債務問題個別相談会を開催
1月25日	水	○優良従業員・創業創立記念顕彰表彰式を開催
2月 3日	金	○浦戸地区で移動相談所を開催
2月 6日	月	○日本商工会議所と意見交換・要望書を提出
2月14日	火	○2012 塩釜フード復興見本市を開催
2月18日	土	○大阪箕面市で震災復興物産展
2月20日	月	○グループ等補助金申請説明会を開催
3月 6日	火	○運営強化委員会を開催（24年度事業計画・収支予算を協議）
3月13日	火	○（社）日本販売士協会が来所
3月19日	月	○グループ等補助金申請に係る個別相談会（第1回）
3月23日	金	○グループ等補助金申請に係る個別相談会（第2回）
3月26日	月	○グループ等補助金申請に係る個別相談会（第3回）
3月27日	火	○23年度通常総会を開催（24年度事業計画・収支予算を承認）
4月 4日	水	○大阪泉佐野商工会議所建設業部会が来所し、当所工業・建設部会と懇談した
4月22日	日	○復興！しおがま市民まつりを開催
5月10日	木	○飯能商工会議所が来所
5月23日	水	○遊休機械無償マッチング支援事業にて「贈呈式」を実施
5月28日	月	○グループ等施設整備補助金申請手続き（89社取りまとめ）

月 日	曜	地 域 の 動 き
10月30日	日	□仙台空港と台北を結ぶ国際定期便が再開
11月24日	木	□仙台塩釜、石巻、松島の3港湾の統合に向けた「宮城県港湾ビジョン」が決定
12月2日	金	○塩竈市震災復興計画が決定される ○仮設水産加工場・仮設事務所が完成
1月22日	日	□仙台港で北米の定期便航路が再開
2月10日	金	□復興庁および宮城県をはじめとする被災県に復興局が設置
3月5日	月	□二重ローン問題に対処する「東日本大震災事業者再生支援機構」が業務を開始
3月11日	日	○東日本大震災塩竈市追悼式を開催 ○JR本塩釜駅前に復興のシンボルとなる「花時計」を設置
3月17日	土	○「塩竈観光物産案内所」が本塩釜駅前にオープン
3月18日	日	□「東北博覧会」が東北一円で本格スタート
4月1日	日	□震災により延期されていた被災三県のテレビのアナログ放送が終了
4月2日	月	○水産加工業復興へ向け、国と塩竈市で30億円を補助する支援策の実施を発表
4月14日	土	○仮設店舗「しおがま・みなと復興市場」で復興感謝祭を開催
4月17日	火	□政府は応急仮設住宅について居住期間を1年延長し3年とする方針を発表
4月29日	日	○チューリップの花3万本をつかった巨大花絵を制作するイベントを開催 ○浦戸諸島を結ぶ初めての貨客船「浦戸フェリー」が就航し、安全祈願祭を行った
5月17日	木	□仙台塩釜港の中国・韓国を結ぶ定期コンテナ航路が再開
5月20日	日	○宮城県釣船業協同組合では魚食安全キャンペーンの一環でカレイ釣り大会を実施
5月24日	木	□東北電力は仙台火力発電所構内の仙台太陽光発電所の営業運転を開始した

被災企業・地域の復興支援

①商工会議所「臨時相談窓口」を設置

震災発生から12日後の3月23日から4月30日の延べ32日間、「臨時相談窓口」をキクニ株式会社（桑原会頭会社2階）内に設置。当所経営指導員等が金融・税務・労務などさまざまな相談に応じ延べ272名が来所した。



【主な相談実績】

雇用保険 89件、融資関係 81件、
小規模企業共済 38件、
特退金・生命共済 31件、確定申告 17件、その他

②会員安否確認（被害状況等）調査

震災後市内事業所の被災状況把握と復興に向けた地域意見・要望等の集約を目的に、会員事業所1,737事業所のうち、市内1,535事業所を対象に全職員にて、訪問および電話による調査を行った。津波による甚大な被害を受けた沿岸部の事業所については、4月1日から先行して巡回ヒアリングを行った。ヒアリング結果については、37ページをご覧ください。



【調査期間】

平成23年5月25日(水)～9月15日(木)

③全国商工会議所からの職員の派遣受け入れ

被災した地域の商工会議所における経営相談などの業務をバックアップするため、各地より経営指導員が派遣され、当所にも札幌、東京、中間の商工会議所の経営指導員が派遣された。被災した多くの中小企業から、多数寄せられる経営相談への対応にご支援いただいた。

①平成23年4月25日(月)～27日(水)

経営指導員2名

(派遣元：札幌商工会議所1名、
東京商工会議所1名)

②平成23年6月13日(月)～17日(金)

経営指導員1名

(派遣元：福岡県中間商工会議所
1名)



巡回で経営相談に応じる
中間商工会議所の経営指導員 ▶

④震災対応に関するセミナー・特別講演会の開催

①平成23年6月28日

テーマ：「大震災に伴う金融政策と
災害特別融資の概要について」

(出席者数 49名)

講師：日本政策金融公庫仙台支店
融資第三課長 今成 潔氏

②平成23年7月27日

テーマ：「東日本大震災による塩釜港区の
被害状況と今後の復興について」

(出席者数 31名)

講師：宮城県土木部港湾課 課長 平間光雄氏

③平成23年11月16日

テーマ：「東日本大震災の検証と
地域防災とまちづくり」

(出席者数 211名)

講師：東北大学大学院教授 今村文彦氏

④平成23年11月29日

テーマ：「身の回りの放射線について」

(出席者数 105名)

講師：東北放射線科学センター
理事 高倉吉久氏



▲ 11月16日の特別講演会



▲ 11月29日の特別講演会

⑤被災事業者支援施策説明、ワンストップ相談会の開催

『被災者支援施策説明』では、各機関より被災者支援策の説明が行われ、終了後の個別相談会では、中小企業支援策や融資制度など、今後事業活動を行うに当たっての相談が数多く寄せられた。

主催：塩釜商工会議所、東北経済産業局、塩釜市

日時：6月16日(木) 13:30～15:30
(施策説明 13:30～14:30
個別相談 14:30～15:30)

場所：塩釜商工会議所

参加機関：東北経済産業局、東北農政局、宮城労働局、
産業雇用安定センター、中小企業基盤整備機構、日本政策金融公庫、宮城県信用保証協会

参加者数：38名



⑥ 会議所情報の発行

震災から18日後に「会議所情報」を市内の会員事業所へ配布し、会頭からのメッセージや会議所の業務再開の案内、臨時相談窓口の開設、公的支援策や経営に関する各種情報の提供を行った。以後3回に亘り配布した。6月から「しおがま会議所ニュース」（1日号、15日号）の発行が再開した。

「会議所情報」

発行日：23年3月29日、4月20日、5月6日

発行部数：各3,000部

**籠んで地震津波災害の
お見舞いを申し上げます**

このたびの東日本大震災で被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。
一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げます。
塩釜商工会議所は、地震津波被害により、現在復旧作業を進めております。
つきましては、下記会場に臨時事務所を設置し、相談窓口を設けております。
なお、復旧作業が終了し、現事務所が利用出来るようになり次第、改めてご連絡いたします。

記

※臨時事務所 キクニ株式会社 2階
※所在地 塩釜市尾島町27-30
※相談時間 平日 午前9時30分～午後4時
土曜日 午前9時30分～正午

※お問い合わせ先（臨時電話）
090-8253-5372 090-8253-4957

平成23年3月
塩釜商工会議所
会頭 桑原 茂

地域事業所各位

⑦ 仮設店舗・仮設工場の完成

震災により自己所有の店舗・事務所等に被害を受けた事業者に対して、早期復興を目的に中小企業基盤整備機構が仮設店舗を整備し、事業者へ貸与する施設。

マリゲート塩釜の隣接地は二棟二十区画を建設。一店舗あたりの面積は30㎡で賃料は無料で入居期間は概ね2年以内。なお、新浜地区の仮設工場は、1工場あたり398㎡で4区画建設され、施設の使用期間は最長で平成28年3月31日までとなる。



▲みなと広場（マリゲート塩釜隣接地）の仮設店舗



▲しおがま・みなと復興市場（仮設店舗）「鍵引渡し式」
平成23年8月12日



▲新浜町・仮設工場

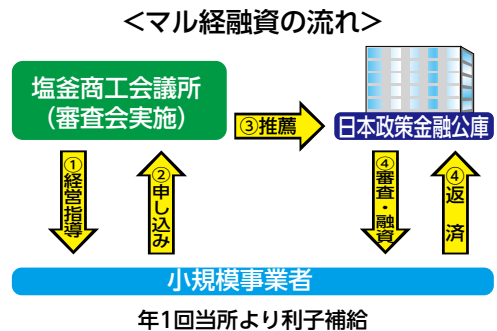
▲本町くるくる広場の仮設店舗

⑧小規模事業者経営改善資金（マル経融資）

震災対応特枠の利子補給

震災による災害の被害を受けた市内小規模事業者の早期復興を支援するため、小規模事業者経営改善資金（マル経融資）震災対応特枠を利用した小規模事業者に対して、塩釜商工会議所が当該融資実行日から3年以内の期間、利子補給を行う。

- (1) 対象者：日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金（マル経資金）のうち、震災対応特枠について震災直後の3月12日から平成25年3月31日までに融資を受け、当所会員事業者で会費を完納している市内事業者の方
- (2) 補給内容：対象融資限度額1,000万円（震災対応特枠限度額）にかかる期間3年間の利子相当額
- (3) 補給方法：対象者が一旦支払った利子を塩釜商工会議所が年1回対象者に直接補給



⑨遊休機械無償マッチング支援プロジェクト事業

津波等で生産機械等を流失・損壊した被災地の事業者の復興を支援するため、全国商工会議所のネットワークを活用し、全国各地の事業者から遊休機械等を無償で提供いただき、被災事業者の要望のマッチングを図る「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」を実施する。

当所からは、9社の要望の提出があり6社が成立し、5月23日に44点の機械（ボール盤、グラインダー、砥石切断機、溶接機、工場扇等）が贈呈された。

【マッチング提供商工会議所】

東京商工会議所、横浜商工会議所、横須賀商工会議所、三島商工会議所、名古屋商工会議所、豊橋商工会議所、大阪商工会議所



▲震災後、中古機械が高騰するなど、必要な機械の調達もままならない被災企業に、会議所ネットワークによって多くの遊休機械がマッチング、提供された。



▲機械の提供を受けた当所会員事業所の方々

復興 P R 活動

① 「がんばっぺ！塩釜」復興ステッカーを製作・販売

5月23日、地域の復興を願い復興ステッカー（5,000セット）を製作・販売

このステッカーは被災地の一日も早い復興を祈るとともに、当市に関わる全ての方々の復興への強い願いを表すことを目的として作成したのもので、収益の一部は塩釜商工会議所が行う地域復興のための事業に活用

販売価格 1シート（A4） 300円



▲佐久商工会議所からの支援車両にも復興ステッカー

②各地物産展への参加・出展

- 平成23年5月28日・29日

「ふじさわ産業フェスタ」（神奈川県藤沢市）

「こまき産業フェスタ2011」（愛知県小牧市）

- 平成23年7月29日～8月8日

「東日本大震災被災地応援物産展」

（長野県上田商工会議所主催）

- 平成23年8月6日・7日

「交野ロータリークラブ東日本大震災被災地応援物産イベント」（大阪府交野市）

- 平成23年9月24日・25日

「くろべフェア2011」（富山県黒部市）

「藤沢市民まつり」（神奈川県藤沢市）

- 平成23年10月22日・23日

「平戸くんち城下秋祭り 被災地応援物産展」（長崎県平戸市）

- 平成24年1月10日

「山形市初市」（山形商工会議所主催）

- 平成24年2月18日

「東北「福幸」エール～物産展&ニコニコスタンプラリー」（大阪府箕面市）

- 平成24年3月4日

「交野ロータリークラブ東日本大震災被災地応援物産イベント2回目」（大阪府交野市）

- 平成24年5月4日

「大阪大東市婦人会 被災地応援物産イベント」（大阪府大東市）



▲24年1月10日 山形初市でのイベント

③ 「銀座いきなり市場」へ参画

東急不動産株式会社が被災地への支援策としてアンテナショップ「東日本復興応援プラザ in 銀座」として銀座TSビルの1F、2Fフロアを無償で出店。気仙沼商工会議所を通じて被災沿岸地域商工会議所が更なる被災地の商品提供・情報発信を行っている。

期 間 平成24年1月5日～8月31日

出品事業所数 7事業所



▲塩釜の商品が並べられたブース



▲開催期間中 一日平均約100人以上が訪れた

④ 第64回塩竈みなと祭

復興の願いを込めて「塩竈みなと祭」が7月18日に開催。震災の影響で花火大会など「前夜祭」は中止し、規模を縮小して行われた。青年部は、当所会館前で「みなと祭復興ライブ」を開催、女性会は陸上パレード参加者に麦茶のサービスをし、お祭りをおおいに盛り上げた。



▲みこし海上渡御では、2隻の御座船と80隻のお供の船が松島湾を巡航した



◀女性会は陸上パレード参加者に麦茶のサービス



▲青年部は、当所会館前で「みなと祭復興ライブ」を開催

⑤ 「がんばっぺ！塩竈」福幸市の開催

震災により、甚大な被害を受けた塩竈地域の産業復興並びに地域事業者の販売促進を図るために「がんばっぺ！塩竈」福幸市が開催された。会場には、水産物や海産物、お菓子などの販売をするテントが並んだ。

- 第1回 開催日：7月18日(日)
開催場所：本塩釜アクアゲート口
- 第2回 開催日：10月23日(日)
開催場所：しおがま・みなと復興市場
同時開催：～鎮魂の祈りを「ひとノミひと削り」
で～ 「大日如来坐像」を制作
- 第3回 開催日：12月23日(金)
開催場所：本町くるくる広場
同時開催：「本町くるくる絆復興感謝祭」



◀津波に襲われた岩手県陸前高田市の松を使って「ひとノミひと削り」で市民がノミを入れ震災犠牲者の鎮魂を祈った

⑥ 2011 震災復興しおがま歳末セールを開催

商店の復興と消費者の皆様への1年の感謝をこめて開催している。今年の加盟店は84店舗となった。

セール期間 平成23年12月15日～平成24年1月3日

お買い上げ千円毎に応募券1枚を進呈。

〔賞品〕	現金 10万円	3本
	8,000円相当商品	50本
	3,000円相当商品	200本



◀当選者抽選会の様子

⑦ 2012 塩釜フード復興見本市の開催

震災による様々な課題のある中、復興を遂げた地域製品に、多くのバイヤーの期待が寄せられた見本市が開催された。

これは、塩竈地域の優れた食材や加工食品を広く紹介し、販路拡大と消費者ニーズに合った商品開発推進の一助となることを目的としている。当日は、県内外のバイヤーが来場し、地元の水産加工業者等33の出展企業は、それぞれの来場者へきめ細かな商品案内でPRに努めた。

開催日：2月14日(火)
 開催場所：ホテルグランドパレス塩釜
 来場者数：1,100人



◀▲バイヤーのみならず、行政・関係機関の来場者も多く、被災から再開までの様子、そして出展商品など生産者の声に耳をかたむけていた。

⑧ 「塩竈市震災見舞商品券」受付業務

塩竈市では震災での住宅被害が「一部損壊」以下の18,000世帯に対し1万円分の「塩竈市震災見舞商品券」を発行、配布した。この商品券の取扱店の募集や換金業務を行った。

取扱店募集期間：平成24年2月6日(月)～2月20日(月)
 (期間外も随時募集)

取扱店舗数：361店舗
 換金期間：8月31日(金)まで



⑨ 「復興！しおがま市民まつり」の開催

昨年は、震災の影響で中止となった市民まつりが、復興元年の先駆けとして盛大に開催された。ジャンボ鉄火巻をはじめ、ステージでのキャラクターショーや大ビンゴ大会など、たくさんの市民が参加し、大いに盛り上がった。特にメインイベントであるジャンボ鉄火巻は、101mの鉄火巻を計2回作成し、合計の長さを塩竈神社の石段の数と同じ「202」とする企画で、このイベントを心待ちにしていた多くの来場者に喜ばれた。また今年も、被災地支援として「復興ブース」が設けられ、三陸「浜のミサンガ」、「女川カレー」、気仙沼「漁師の瓶玉」が販売された。

開催日：4月22日(日)
 開催場所：本塩釜駅前
 来場者数：28,000人



▲大勢の人出で賑わう会場



▲ジャンボ鉄火巻イベント

要 望 活 動

①塩竈市の地域復興に向けた支援策等に関する緊急要望・・・※1別掲 p33

期 日：平成 23 年 5 月 25 日(水)
要 望 先：日本商工会議所岡村会頭

②全国水産都市三団体連絡協議会東日本大震災に関する緊急要望

期 日：平成 23 年 5 月 25 日(水)
要 望 先：水産庁、財務省等

③宮城県商工会議所連合会要望

期 日：平成 23 年 7 月 6 日(水)
要 望 先：村井宮城県知事

④塩釜地区の早期復興に関する要望

期 日：平成 23 年 7 月 8 日(金)
要 望 先：末松内閣府副大臣（宮城現地対策本部長）



5/25 日本商工会議所岡村会頭に要望

⑤宮城県港湾協会中央要望

期 日：平成 23 年 7 月 22 日(金)
要 望 先：国土交通省等

10/17
村井知事に要望



⑥東日本大震災に伴う震災復興支援に関する要望

期 日：平成 23 年 9 月 29 日(木)
要 望 先：佐藤塩竈市長



⑦塩釜地区の震災復興支援に関する要望・・・※2別掲 p34 10/17 郡内閣府政務官へ要望

期 日：平成 23 年 10 月 17 日(月)
要 望 先：平野内閣府特命担当大臣、郡内閣府政務官（宮城現地対策本部長）
石山衆議院議員、村井宮城県知事

⑧震災からの復旧・復興に向けた重点要望

期 日：平成 23 年 11 月 28 日(月)
要 望 先：安住財務大臣

⑨東日本大震災に伴う被災地区支援（グループ補助金）に関する要望・・・※3別掲 p36

期 日：平成 24 年 2 月 15 日(水)
要 望 先：鈴木中小企業庁庁官、日本商工会議所岡村会頭、地元選出国會議員等

⑩グループ補助金申請に係る要望

期 日：平成 24 年 3 月 12 日(月)
要 望 先：佐藤塩竈市長

※1

塩竈市の地域復興に向けた支援策等に関する緊急要望

平成23年5月25日

塩釜商工会議所

会頭 桑原 茂

3月11日に発生した東日本大震災により、塩竈市の産業経済は未曾有の大打撃を被りました。特に沿岸部に近い中心市街地の商工業者の多くは、地震に加え想像を絶する大津波により壊滅的な被害を受け、今後の事業継続、そして事業再生は極めて困難な状況に陥っております。

こうした中、本市では、文字通り官民一体となって、この窮地を脱すべく地域再生を目指し、日夜努力を重ねているところでありますが、復興への道のりは長く、大変険しいものと強く認識しております。

しかしながら、先人より受け継いだ、塩竈の歴史、文化、伝統を守り、継承し、さらなる地域の発展につなげるためにも、私どもは今後とも地域活性化へ向けて、全力を挙げて取り組んで参る所存であります。

つきましては、このような災害の甚大さに鑑みるとともに、本市の窮状をなにとぞご賢察いただき、塩竈市の地域復興へ向け、絶大かつ迅速なるご支援を賜りますよう、下記の通り要望いたします。

記

1. 水産業の復興へ向けて

地域経済の牽引役である水産業復興の中心的な役割を担っている漁港及び魚市場施設の補修、また浅海養殖漁業の復興へ向けた融資や助成制度の拡充、水産加工業者の経営再建のための財政支援等、適切な措置を講じられるよう要望いたします。

2. 中小企業の再生へ向けて

国の支援対象は、主に法人格を持った組合、団体等いわゆる共同体を主眼におかれておりますが、個々の企業が繁栄しなければ、商店街等ひいては地域の発展にはつながれないと考えております。こうしたなか、現在中小、とりわけ小規模企業にとって、事業再建のためには資金繰りの確保が喫緊の課題であり、無担保・無保証・無利子かつ長期の返済期間等超法規的な措置を講じられるよう要望いたします。

3. 風評被害の打破へ向けて

震災に伴う原発問題での風評により、仙台塩釜港への貨物船等の抜港による入港激減とあわせて、塩釜・松島地域での観光客減少も招いております。地域経済復興のために、港湾のインフラ整備を早急に行われるとともに、入港促進、観光奨励をすべく、広く国内外に対し、意識の高揚、喚起を呼びかけるよう要望いたします。

4. 地域商工業の拠点復旧へ向けて

商工会議所会館は、地域の商工業者にとっての拠点であり、経営支援のための諸機能を回復させるために、施設の復旧に対し、特段の財政的ご支援を講じられるよう要望いたします。

※ 2

東日本大震災に伴う震災復興支援に関する要望

平成23年10月17日

塩釜商工会議所

会頭 桑原 茂

東日本大震災では、地震と想定外の津波により、かけがえのない尊い生命と財産、これまで築き上げてきた歴史的、文化的財産をも奪い去るとともに、本市の中枢をなしてきた水産業及び港湾施設をはじめ市街地や商業・観光施設など広範多岐にわたり壊滅的な被害を受けた。

震災から6か月が経過した現在も転・廃業が相次ぎ壊滅的状况が続いている中、原発問題など間接的な被害も加わり、市内の経済状況は全業種にわたり、極めて厳しい状況にある。

当所では、震災直後から被災地区の中小・小規模企業に対する支援業務を強化し、経営の存続及び継続に向け取り組んできているが、大震災の復興には膨大な時間と費用が必要であり、国・県並びに塩竈市の絶大なる支援が必要不可欠である。

このような中、今後、国による震災復旧のための第三次補正予算の成立によって、更なる中小・小規模企業への支援策に期待するところであるが、被害がかつて経験したことのない想像を超えた規模であることから、被災地域の中小・小規模企業の復旧・復興には思い切った手法と強い決意が必要であり、かつ、スピード感をもって当たることが最も重要である。

ついては、被災した中小・小規模企業の復旧・復興に向けた予算の確保並びに支援策等について、迅速かつ十分な措置を講じられ、全力で取り組まれることを強く求め、下記の通り要望します。

記

1. 道路・港湾施設等の復旧を早急に実施

所有する土地建物の周辺道路等の嵩上げ幅が決定しなければ、建物等の復旧を進めることができないため、地盤沈下した地域、港湾施設（岸壁・上屋・背後地）等の今後の復旧・対応に関して、嵩上げ幅や各工程スケジュールについて、より具体的計画を提示され、早急に決定・実行されたい。

2. 海上防災基地機能の整備促進

現在の港湾計画に海上防災基地ゾーンとして設定されている区域については、現状復旧ではなく、この機会に耐震化を始め新たな計画に基づいた整備を早急に進められたい。

3. 魚市場施設の一体化整備

加工団地の地盤改良や、魚市場の嵩上げ（70cm）工事実施と同時に、上屋、塔屋など魚市場施設についても一体化して整備推進されるよう対応を図られたい。

4. 国内水産物供給の重要拠点としての再認識

今回の大震災で、塩釜漁港は、地理的好条件を背景に早期に機能回復したが、今後も食料政策上、水産業及び水産加工業の国内水産物供給の重要拠点として再認識し、幅広い魚種に対応できる受入

体制の構築をはじめ、地元ブランドのPR強化、販路回復のための各種支援措置を講じられたい。

5. 魚価値崩れ防止

震災・風評被害により魚価が低迷する中、値崩れ防止策として消費税の外税化が挙げられるが、課税対象者を明確にし、メーカーが適正価格を提示できるような是正措置を講じられたい。

6. 離島（浦戸地区）への復興支援

- (1) 地盤沈下（高潮）の対策について
- (2) 恒久住宅の整備について
- (3) 浅海養殖漁業者への救済について

以上について、十分な対策を講じられたい。

7. 事業用建築物の耐震診断及び耐震補強工事の係る支援

今後も予想される大震災などの災害に備えるため、民間事業所が行う耐震診断及び耐震補強工事に対する助成措置を講じられたい。

8. 中小・小規模企業に対する金融支援

大震災の影響を直接的、間接的に受けている中小・小規模企業の資金繰り対策として、融資利率の更なる引き下げ、利用要件の緩和、既存借入金の返済猶予・返済条件変更など、民間・公的金融機関を問わず、可能な限り柔軟に対応されたい。

9. 雇用維持のための支援（税制支援及び雇用調整助成金）

大企業・中小企業を問わず、被災企業の事業継続と従業員の雇用を支援するため、法人税をはじめ固定資産税・都市計画税、事業税等について3年間の減免、及び、雇用調整助成金の上限アップ・支給期間の延長並びに支給基準の見直し（被災事業所が業務再開のため被災設備の清掃や事務所の復旧作業に従事した場合等）措置を講じられたい。

10. 風評被害の防止

原発事故に伴う放射能偏見や風評被害があらゆる産業に拡大している中、国内はもとより海外に対しても正確な測定データに基づく迅速な情報開示を継続され、風評被害防止の徹底と、企業経営における不安解消と安全確保に十分な対策を講じられたい。

※3

東日本大震災に伴う被災地区支援（グループ補助金）に関する要望 ～平成24年度募集申請（第4次）に向けて～

平成24年2月15日

塩釜商工会議所

会頭 桑原 茂

東日本各地に未曾有の被害をもたらした東日本大震災は、発災から間もなく一年を経過しようとしておりますが、その被害の爪跡は、今もなお、被災地に色濃く残されている状況にあります。

特に本市においては、想像を絶する壊滅的被害を受けた沿岸地域を中心に、把握できた直接的被害額だけでも1,104億円（23年11月現在）にのぼり、依然、厳しい環境の中での事業再開を余儀なくされているのが現状であります。

当所では、発災以来、日本商工会議所はじめ全国の各地商工会議所からの多大なるご支援とご協力のなか、復旧・復興対策を進め、地域会員事業所の復興に向けて全力で取り組んでいるところでありますが、本地域は、経済的にも財政的にも脆弱な地域であり、県や市の対応できる範囲を大きく超え、被災地の甚大な被害や現場の切実な声への迅速かつ十分な対応をとることが非常に困難な状況となっております。

このような中、国におかれましては、これまでの補正予算措置や復興庁設置、復興特区法案の成立など本格復興への支援体制が整い、種々ご尽力いただいているところであり、早期の復興に繋がるものと多いに期待するものであります。

一方、国費による中小企業者対策事業の一つである「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」では、第3次募集までに認定を受けられなかった事業者をはじめ、これまでの募集には時間的に間に合わず、改めて公募があれば本格的な復興に向け事業計画を準備し提案したいとする声が多く寄せられているところであります。

当所といたしましては、復興のためのまちづくりや地域産業の活動をスムーズに再開させるためにも、また、地域内の補助認定状況が十分でないことから、復興事業計画及び対象グループ化の見直しを図り、再申請に向けた取りまとめ作業を進め、当地域の多くのグループが認定されるよう、全力を挙げて取り組んでいるところでありますので、何卒、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

また、一部情報では、新年度における第4次募集が、当該補助事業の最終募集とも言われておりますが、これまでは街の復興計画が本格化しないと自社の計画が作れなかった事業者も多く、今後、本格的な復興に向け事業計画を準備したいとするグループが出てくることも予想されますので、当該事業費の増額とともに、継続して実施されるなど、特に小規模事業者に対する一定の補助金による支援策の拡充について要望いたします。

東日本大震災 会員安否確認（被害状況）調査結果

調査対象者 市内会員事業所および津波到達地域非会員事業所

調査人員 塩釜商工会議所職員 13 名 復興サポーター 2 名 計 15 名

調査時期

第1期 平成23年4月1日(金)～5月24日(火) 津波到達地域への訪問調査
 第2期 平成23年5月25日(水)～7月29日(金) 市内全会員への訪問調査
 第3期 平成23年8月1日(月)～9月15日(木) 連絡先不明および未巡回事業所への電話調査

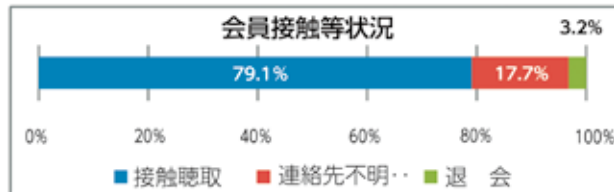
調査目的

市内会員事業所および津波到達地域非会員事業所にヒアリング調査を実施し、安否確認と被害状況の確認をするのみならず、復興要望の基礎となる震災課題の抽出を目的に調査を実施した。

調査結果

◇会員接触等状況

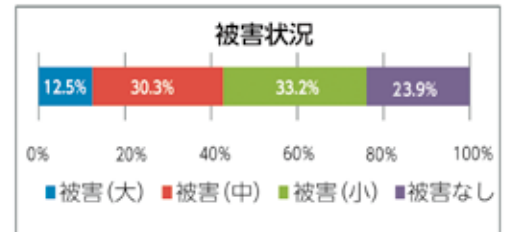
	件数	比率
接触聴取	1,214	79.10%
連絡先不明 連絡つかず	272	17.70%
退会	49	3.20%
調査対象市内会員数	1,535	



※退会数は9月15日現在の年度累計数

◇被害状況

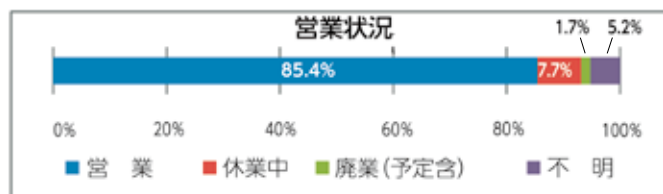
	件数	比率	被害の基準
被害(大)	154	12.50%	事業所の全壊・流失/人的被害・行方不明
被害(中)	372	30.30%	車両、機器、所有物の大規模損傷/取引先企業を失う等
被害(小)	408	33.20%	車両、機器、所有物の小規模損傷/所内の備品散乱等
被害なし	294	23.90%	被害なし
合計	1,228		



※被害(大)件数には、施設解体済連絡先不明事業所 14 件を含む

◇営業状況

	件数	比率
営業	1,065	85.40%
休業中	96	7.70%
廃業(予定含)	21	1.70%
不明	65	5.20%
合計	1,247	



調査概況

当所事務局が津波の被害に遭い、会員データをはじめ多くの重要データが一時的に喪失したことから、業務再開まで時間を要したものの、会報配布リストをもとに調査準備を進め、会員被害を把握するべく4月1日より調査を開始した。

調査は連絡や交通の手段もない時期から始まり、調査初期は避難や復旧作業従事による不在、連絡先不明などによって未接触となるケースも多く、結果とりまとめまで期間を要した。

最終的に電話ヒアリングを含め約8割の市内会員の声を伺うことができ、ヒアリング内容は、当所要望活動に反映させるのみならず、国、県、市および関係機関との意見交換やお尋ねがあった際に、地域や業界の個別具体的な実状を伝える基礎資料として活用した。

震災復興会員ニーズ調査結果

調査対象者及び回収率 調査対象：当所会員 1,661 事業所 回収率：61.17%（回答 1,016 事業所）

調査時期

平成 24 年 4 月 6 日(金)～ 5 月 25 日(金)

調査目的

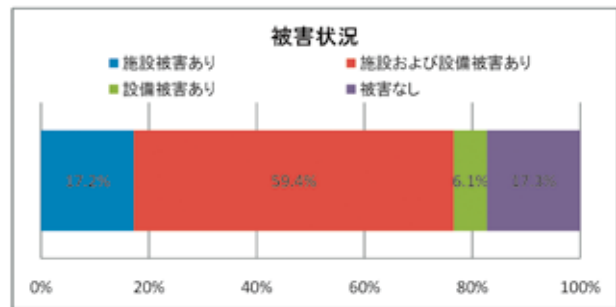
本調査は、塩釜商工会議所の会員の復興ニーズと現況を把握し、今後の復興支援事業や各種要望活動につなげるための基礎資料とすることを目的に実施した。

調査方法

アンケート調査

◇会員事業所における施設・設備の被害状況

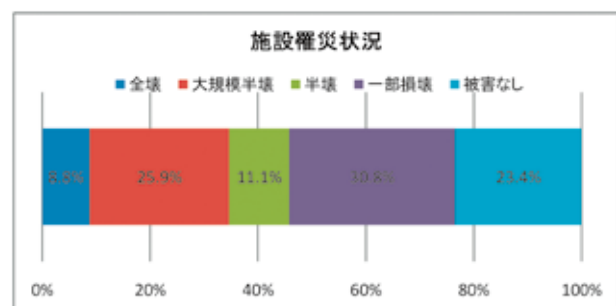
	合計	
	件数	%
被害あり	840	82.7%
施設被害あり	175	17.2%
施設および設備被害あり	603	59.4%
設備被害あり	62	6.1%
被害なし	176	17.3%
合計	1,016	100%



事業施設・設備の被害については「施設のみ被害」が17.2%、「施設および設備の被害」が59.4%、「設備のみ被害」が6.1%、「被害なし」は17.3%となり、直接震災被害のあった事業所は回答者の82.7%に及んだ。

◇会員事業所における施設罹災状況

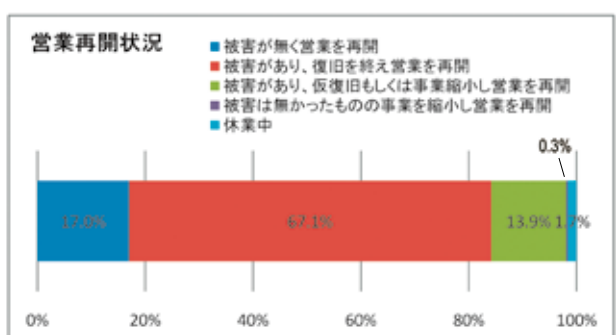
	合計	
	件数	%
全壊	89	8.8%
大規模半壊	263	25.9%
半壊	113	11.1%
一部損壊	313	30.8%
被害なし	238	23.4%
合計	1,016	100%



施設における罹災証明の状況については、「全壊」8.8%、「大規模半壊」25.9%、「半壊」11.1%、「一部損壊」30.8%、「被害なし」が23.4%となった。なお、「全壊」、「大規模半壊」は併せて34.7%となったが、その多くは津波浸水区域であった。

◇業種別営業再開状況

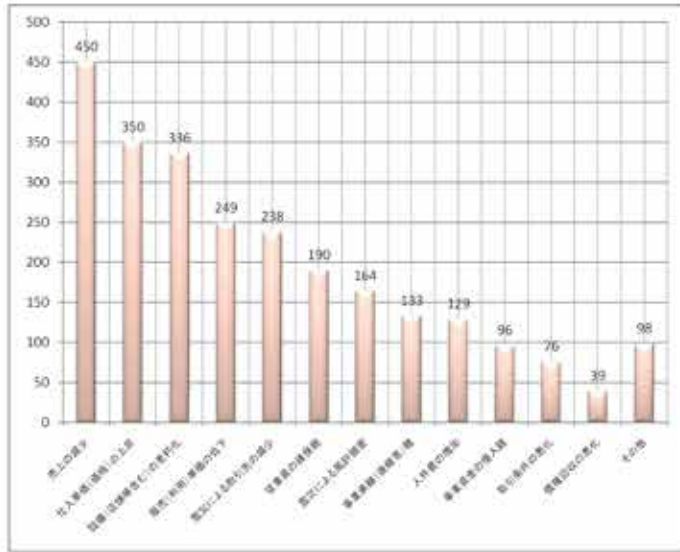
	合計	
	件数	%
営業を再開している	999	98.3%
被害が無く営業を再開	173	17.0%
被害があり、復旧を終え営業を再開	682	67.1%
被害があり、仮復旧もしくは事業縮小し営業を再開	141	13.9%
被害は無かったものの事業を縮小し営業を再開	3	0.3%
休業中	17	1.7%
合計	1,016	100%



営業再開状況については「被害が無く、復旧作業を要せず営業を再開」が17.0%、「被害があり、本設復旧を終え営業を再開」が67.1%、「被害があり、仮復旧を終えた。もしくは事業を縮小して営業を再開」が13.9%、「被害は無かったものの、事業を縮小して営業を再開」が0.3%、「休業中」が1.7%となり、営業を再開した事業者の数は回答者の98.3%に上っている。ただし、震災後、廃業、解散、閉店、閉鎖した事業者は89件（平成23年度）に上っているが、本調査結果には反映されていない。

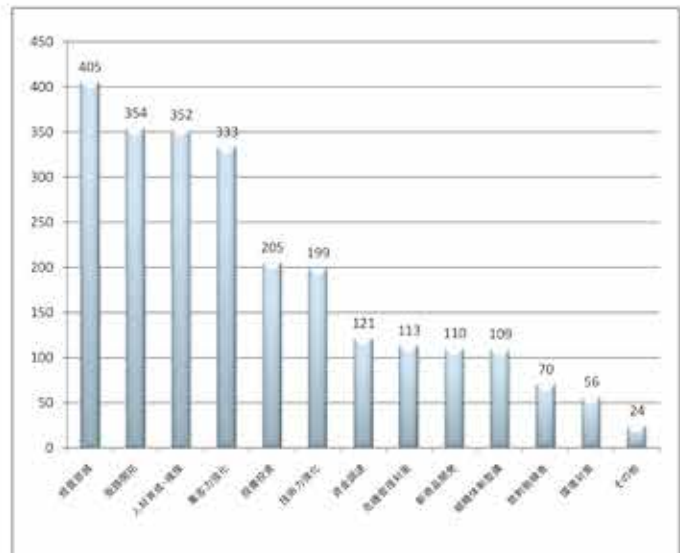
◇現在、貴事業所が直面している経営上の大きな課題は何ですか？（複数回答）

	合計	
	件数	%
① 売上の減少	450	17.7%
② 仕入単価(価格)の上昇	350	13.7%
③ 設備(店舗等含む)の老朽化	336	13.2%
④ 販売(利用)単価の低下	249	9.8%
⑤ 震災による取引先の減少	238	9.3%
⑥ 従業員の確保難	190	7.5%
⑦ 震災による風評被害	164	6.4%
⑧ 事業承継(後継者)難	133	5.2%
⑨ 人件費の増加	129	5.1%
⑩ 事業資金の借入難	96	3.8%
⑪ 取引条件の悪化	76	3.0%
⑫ 債権回収の悪化	39	1.5%
⑬ その他	98	3.8%
総回答数	2,450	100%



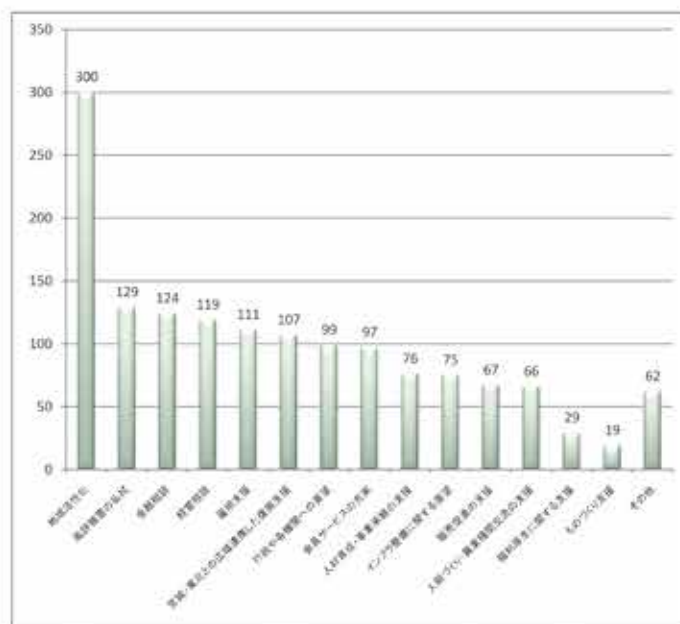
◇貴事業所で、今後（ここ数年）の経営計画において、重要視していく点は何ですか？（複数回答）

	合計	
	件数	%
① 経費節減	405	16.5%
② 販路開拓	354	14.4%
③ 人材育成・確保	352	14.4%
④ 集客力強化	333	13.6%
⑤ 設備投資	205	8.4%
⑥ 技術力強化	199	8.1%
⑦ 資金調達	121	4.9%
⑧ 危機管理対策	113	4.6%
⑨ 新商品開発	110	4.5%
⑩ 組織体制整備	109	4.4%
⑪ 放射能検査	70	2.9%
⑫ 環境対策	56	2.3%
⑬ その他	24	1.0%
総回答数	2,451	100%



◇貴事業所で、商工会議所に望む支援事業等はどれですか？（複数回答）

	合計	
	件数	%
① 地域活性化	300	20.3%
② 風評被害の払拭	129	8.7%
③ 金融相談	124	8.4%
④ 経営相談	119	8.0%
⑤ 雇用支援	111	7.5%
⑥ 宮城・東北との広域連携した復興支援	107	7.2%
⑦ 行政や各機関への要望	99	6.7%
⑧ 会員サービスの充実	97	6.6%
⑨ 人材育成・事業承継の支援	76	5.1%
⑩ インフラ整備に関する要望	75	5.1%
⑪ 販売促進の支援	67	4.5%
⑫ 人脈づくり・異業種間交流の支援	66	4.5%
⑬ 福利厚生に関する支援	29	2.0%
⑭ ものづくり支援	19	1.3%
⑮ その他	62	4.2%
総回答数	1,480	100%



会費の対応

- ① 6月の常議員会において、多くの会員が被災していることを鑑み、23年度会費請求に関して、減額や請求時期、依頼方法等を協議し、6月28日開催の通常議員総会に諮ることを決定した。
- ② 通常議員総会においては、東日本大震災の影響を鑑み、また、復興支援対策の迅速かつ的確な事業推進が必要なことから、減額して会費請求をすること決定。
- ◆内容は次のとおり。
- 1) 会費の減額 全会員一律、年額の3ヶ月分相当額を減額
 - 2) 減額の周知 7月下旬を目途に全会員宛文書にて周知
 - 3) 納入の通知 9月中旬を目途に全会員宛文書にて通知
 - 4) 請求の時期 従来の下期分請求日(10月13日 自動振替日)
- －付記－ この度の大震災により、会員事業所の被害状況がそれぞれ異なると思われますので、復旧状況や罹災内容等を相互に確認しながら、改めて対応させて頂く場合もございます。
- ③ 7月28日付「会費減額のお知らせ」文書発送。
- ④ 10月5日付「会費納入依頼」文書発送。
- ⑤ 10月13日自動振替、11月14日再振替。
- ⑥ 平成24年3月31日現在の会費入金額等は次のとおり

	金額	備考
年間当初予算額	42,600,000円	
第1次補正予算	27,500,000円	
第2次補正予算	31,500,000円	
請求金額	35,686,340円	
入金額(3/31現在)	32,342,000円	予算達成額76%、請求に対する入金率91%

塩釜商工会議所会館設備等の主な被害状況

(1) 被害状況と補修内容

被害状況	補修内容
(1) 地盤沈下(玄関前駐車場他敷地内) 約10～20cm	未補修
(2) 会館内廊下部地盤沈下(約10cm)	段差スロープ補修
(3) フェンス及び外溝部破損	再利用現状復帰補修、一部廃棄
(4) 表玄関、裏通用口ガラスドア、サッシ等破損	交換及び補修
(5) 会議室(第1～第5)、役員室、事務室、トイレ、倉庫等壁面一部亀裂、破損	一部貼替及び補修
(6) 会館外壁・内部床全面汚泥重油等付着(相当数)	現状復帰、高圧洗浄3回施工
(7) 会館屋根一部亀裂損傷	パテ補修工事
(8) 物産陳列ケース水没破損	廃棄
(9) 電気設備(1階全面)水没損傷	交換及び補修
(10) 空調設備(室外機)水没破損	全館交換、受電設備新設
(11) 給排水設備破損	交換及び補修
(12) 電話設備水没破損	交換及び補修
(13) 会議室パーテーション損傷	再利用・現状復帰補修
(14) 会議用机100台、会議用イス200脚水没損傷	廃棄、一部再利用ほか支援物資
(15) 事務机17台、事務イス17脚水没損傷	再利用
(16) 事務所書棚、事務用サーバー・PC15台水没損傷	交換(書棚再利用)
(17) 音響設備、プロジェクター他映像設備等水没破損	交換
(18) 事務所大型耐火金庫2台水没損傷	支援物資による代替金庫(中古)
(19) 事務所印刷機1台、コピー機2台水没損傷	交換
(20) 広報車両2台(軽自動車)水没破損	支援物資による代替車両(中古含)
※その他、業務書類、事務用備品相当数水没及び流失	

(2) 工期 平成23年3月25日～平成24年3月31日

(3) 復旧費用 20,792,774万円(※平成24年6月現在 復旧工事進捗率 約75%)

各地からの表敬訪問・視察等受入状況

	名 称		来 所 日
1	黒部商工会議所・黒部市役所	5名	平成23年 4月26日
2	公明党視察団	10名	平成23年 6月27日
3	須坂商工会議所	30名	平成23年 9月28日
4	尼崎西ロータリークラブ	3名	平成23年 8月 1日
5	浜田商工会議所	2名	平成23年10月 5日
6	国際ロータリー第2750地区	23名	平成23年10月 8日
7	沖縄市議会	5名	平成23年11月 2日
8	会津信用金庫	8名	平成23年11月11日
9	宇都宮細谷地区自治会	24名	平成23年11月14日
10	沖縄県浦添市議会	3名	平成23年11月22日
11	関東商工会議所連合会	2名	平成23年11月25日
12	泉佐野商工会議所（一般商業部会）	14名	平成23年11月28日
13	上尾商工会議所	45名	平成23年12月 5日
14	兵庫県商工会議所連合会	16名	平成23年12月 8日
15	日本商工会議所	6名	平成24年 2月 6日
16	佐久商工会議所	2名	平成24年 2月 8日
17	社団法人日本販売士協会	20名	平成24年 3月13日
18	泉佐野商工会議所（建設業部会）	14名	平成24年 4月 4日
19	新石川下谷自治会（横浜市）	16名	平成24年 4月26日
20	飯能商工会議所	3名	平成24年 5月10日
21	宮城県議会地域産業復興専門部会	18名	平成24年 6月 6日

ご支援をいただいた方々

（順不同敬称略）

日本商工会議所、宮城県商工会議所連合会、藤沢商工会議所、佐久商工会議所、小野商工会議所、上田商工会議所、浜田商工会議所、函館商工会議所、浜田商工会議所、大東商工会議所、室蘭商工会議所、釧路商工会議所、根室商工会議所、稚内商工会議所、登別商工会議所、銚子商工会議所、三浦商工会議所、焼津商工会議所、堺港商工会議所、下関商工会議所、福岡商工会議所、長崎商工会議所、函館商工会議所、本庄商工会議所、上田商工会議所、藤沢商工会議所、本庄商工会議所、須坂商工会議所、上尾商工会議所、泉佐野商工会議所、箕面会議所青年部会員ワイズノート、泉佐野商工会議所一般商業部会・建設業部会、上田商工会議所砥石米山城まつり実行委員会、箕面商工会議所東北福幸エール物産展実行委員会、中間商工会議所昭和町商業組合、飯能商工会議所震災復興元気市実行委員会、宮城県労働保険事務組合連合会、宮城県火災共済共同組合、東北自動車共済協同組合、仙台商工会議所青年部、アクサ生命保険株式会社、全国青色申告会連合会、カメイ株式会社、株式会社HOTTA、株式会社フォーバル東北支店、コクヨ東北販売株式会社、社団法人神奈川県建設業協会県央支部、ユニ・チャーム株式会社、株式会社日本マネージメントリサーチ、角田ロータリークラブ、国際ロータリー第2770地区、塩釜ロータリークラブ、総合メディカル株式会社、兵神装備株式会社、株式会社NaITO、日本共産党中央委員会、社団法人日本販売士協会、救世軍仙台小隊、若加（スナック）、ひまわり弁当、まるしま商店、蜂谷工業、株式会社辰巳商会、プランニングフェロー、塩釜青色申告会、社団法人宮城労働基準協会、株式会社博光社、株式会社西村本店、港新印刷所、株式会社工陽社、エフエムベイエリア株式会社、有限会社桜井自動車商会、株式会社ジオクリエイト、熊久商店、有限会社アイ経営相談所、株式会社矢部園茶舗、株式会社SUN-CLEAN、極洋食品株式会社、社の都信用金庫塩竈営業部、株式会社キクニ、西田優顕（国際原子力情報・研修センター長）、澁谷喜光（古川商工会議所元専務理事）、土井弘子（元職員旧姓鈴木）、平向 博（元職員）、三浦 豊（元職員）、塩釜商工会議所女性会、塩釜商工会議所青年部

※日本商工会議所からのご支援につきましては、全国の商工会議所からのご支援も集約されております。多大なるご支援をいただきましてありがとうございます。

【資料】 塩釜市の被害状況

●地震概要（気象庁）

発生日時	平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分
震央地名	三陸沖（北緯 38.1 度、東位 142.9 度）
規 模	マグニチュード 9.0（暫定値）
市内震度	震度 6 強
津 波	3 月 11 日 14:49 太平洋沿岸に大津波警報発令
	津波の高さ 本 土 4.0 m（推定値）
	浦戸諸島 8.0 m（推定値）
	（3 月 13 日 17:58 津波注意報解除）

●被害状況（塩竈市）

人的被害

死 者	47 名
	（市内で亡くなられた市民の方 17 名、市外で亡くなられた市民の方 30 名）
災害関連死	14 名
	（市が設置する専門家の委員会によって震災と因果関係があると認定されたもの）

建物被害

全 壊	1,009 戸
大規模半壊	2,507 戸
半 壊	2,145 戸
一部損壊	6,400 戸

●仮設入居状況（塩竈市）

仮設住宅数	206 戸	世帯数	197 世帯
民間借上	523 戸		

●被害額の状況（塩竈市）

交通関係	25,141 千円	…市営汽船等
ライフライン施設	933,400 千円	…水道、都市ガス、通信・放送施設
保健・医療福祉関係施設	444,680 千円	…医療機関、民間保育所、保健センター、児童館等
建築物	61,144,461 千円	…被災建物
民間施設等	12,800,000 千円	…工業関係、商業関係
交通基盤施設	16,651,574 千円	…道路・橋梁、港湾施設、下水道施設、 その他の公共土木施設等
農林水産関係	27,792,949 千円	…共同利用施設、塩釜漁港施設等
文教施設	200,544 千円	…県立・市立学校、その他の文教施設
文化財	6,000 千円	…市指定文化財等
廃棄物処理・し尿処理施設	81,908 千円	…清掃工場
その他の公共施設	1,408,925 千円	…観光施設、消防・防災施設、警察関係施設
合 計	121,489,582 千円	

あ と が き

3月11日午後突然襲った大地震と大津波、一瞬にして大自然の恐ろしさをまざまざと見た思いです。大震災で受けた被害の甚大さに今更ながら驚愕するとともに、大震災の記憶を深く心に刻み、後世に伝えて再び多くの犠牲や被害を出さないことが残された私どもの責務であります。

東日本大震災からの復興のために、私たちが考えねばならないこと、提案すべきこと、伝えるべきことなど、情報が氾濫していて、分かりやすく整理されていない面が多々あったことから、商工会議所の広報委員会として、手作りではありますがこれまでの活動の記録を中心に冊子にまとめることといたしました。

本冊子に収められた報告は、微力のため、地域の状況や活動内容の全てを網羅するものではありませんが、被災地の真の姿を、一人でも多くの方に伝えることができたとすれば、所期の目的は達成できたものと存じます。

本冊子を通じて、広く会員の皆様が、商工会議所活動や防災の重要性について理解を深めていただくことを願ってやみません。

最後に、東日本大震災において被災を受けた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と復興をお祈りいたしております。

平成24年7月

塩釜商工会議所広報委員会

委員長 佐藤 仁一郎

(当所常議員・(株)ごんきや代表取締役社長)



広報委員会

副委員長	鈴木 彰	ヤットハチ鈴木水産(株)	代表取締役
副委員長	村松 友司	(株)テクノムラマツ	代表取締役
委員	亀井 善宏	(株)稲井	取締役総務部長
委員	永井 武男	(有)インテリア工房ながい	代表取締役
委員	鈴木 雅博	(株)くろしお	代表取締役
委員	鈴木 嘉仁	(株)工陽社	代表取締役
委員	武田 和浩	(株)笹の浦	代表取締役
委員	飛田 勉	(有)三勝商店	代表取締役
委員	大場 喜蔵	塩釜青色申告会	会長
委員	及川 安夫	塩釜市建設職組合	組合長
委員	鈴木 文夫	(業)塩釜清掃センター	理事長
委員	志賀 重信	(有)志賀石材店	代表取締役社長
委員	津田 武彦	(株)ダイイチ津田商店	代表取締役
委員	田中 大輔	(株)辰巳商会	代表取締役
委員	川村 勝男	(株)チャンプ	代表取締役
委員	長南 正勝	長南マイクロパーツ(株)	取締役会長
委員	駿河 一彦	東亜建設工業(株)東北支店	営業二課長
委員	荒川 直	東北重機工事(株)	代表取締役社長
委員	西村 勝男	(株)西村本店	相談役
委員	佐藤 貴久	(有)花久生花店	代表取締役
委員	尾形 喜孝	(株)宝生	代表取締役
委員	遠藤 勝一	(株)丸勝会館	代表取締役
委員	佐藤 元通	宮城造船鉄工(株)	代表取締役
委員	小泉 幸彌	(株)三善材木店	代表取締役社長
委員	佐藤 幸司	(株)八百大	取締役会長
委員	矢部 亨	(株)矢部園茶舗	代表取締役
委員	武田 武夫	(有)ヤマコ武田商店	代表取締役会長
委員	山内 英房	(株)やまや	代表取締役会長
委員	加藤 悦男	(株)ユアテック塩釜営業所	所長
委員	佐藤 明彦	(株)ワタベ魚類	代表取締役
オブザーバー	鈴木あい子	商工会議所女性会	副会長
オブザーバー	小向信太郎	商工会議所青年部	総務広報委員長

心を合わせ 復興へ

東日本大震災の記録

2011.3.11 ~ 2012.6.30

平成 24 年 7 月 31 日 発行

発行／塩釜商工会議所

〒 985-0016 宮城県塩釜市港町 1-6-20

電話 022-367-5111

印刷／株式会社 工陽社

〒 985-0021 宮城県塩釜市尾島町 8-7

電話 022-365-1151



私たちは決して忘れない。
大震災と き合った日々を
風化させないためにも……

写真のヒマワリは、復興の願いを込め兵庫県
小野商工会議所より贈られた種をまき、育て
たものです。
ヒマワリは、阪神大震災で復興のシンボルに
もなりました。